

Well-being指標によるダッシュボード評価

(デジタル庁において仕組みを検討し、提供予定。Type2/3において当該ダッシュボードを活用したKPI評価を行う。
Type1においてもその活用を検討)

- **Well-Being指標によるダッシュボード評価を基本とするが、難しい場合、SustainabilityやInnovation各分野における客観指標・取組指標のうちのいずれかの指標を設定。指標はプロジェクト単位ではなく、エリア単位でコミット。**
- 常にリアルタイムでモニタリングを目指し、**当該指標が支える特定のビジョンに総動員された、国、自治体、産業界、大学・高専、市民が全員で、指標が改善しているか否かを評価。**その理由を検証し、**アジャイルに改善。要すれば制度改革も視野。**



Sustainability
〈持続可能な暮らし・社会〉

いずれかの指標により
改善しているか否かを
総動員された関係者
全員で評価/検証

Innovation
〈地域発の産業革新〉

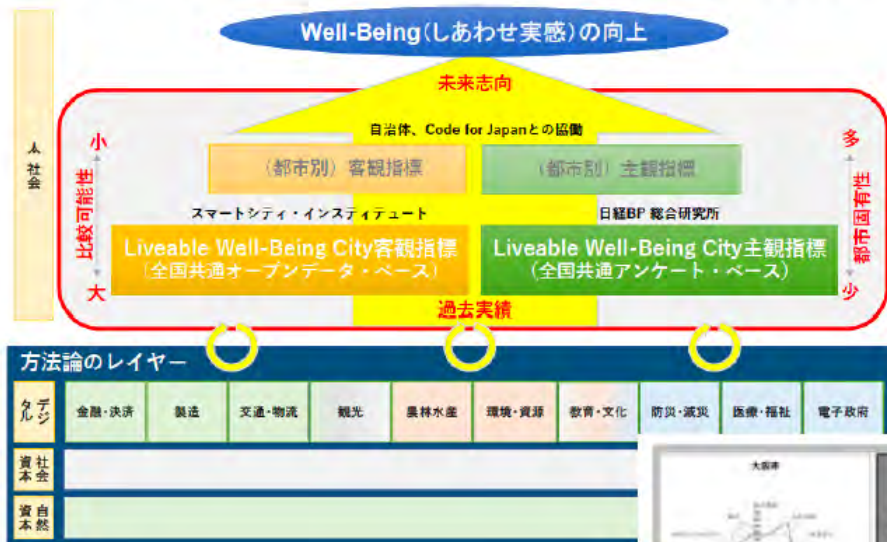
- 客観指標 (オープンデータ)**
- ・クリーンエネルギー比率
 - ・CO2排出量等脱炭素指標
 - ・男女平等格差指標
 - ・労働者平均時給
 - ・都市部の環境指標
 - ・その他分野別指標
- or
- 国連SDGs指標を参照

- 取組指標 (プロジェクト実績)**
- ・再エネ発電量の向上
 - ・リサイクル量の向上
 - ・デジタル教育環境整備進展
 - ・雇用創出プロジェクト成功
 - ・環境保護設備の設置
 - ・その他現在取組中のプロジェクトの成功

- 客観指標 (オープンデータ)**
- ・研究開発投資額
 - ・新規創業数・事業数
 - ・デジタル教育普及度
 - ・全要素生産性伸び率
 - ・DX認定事業者数
 - ・先導的プロジェクト実施数
 - ・その他指標
- or

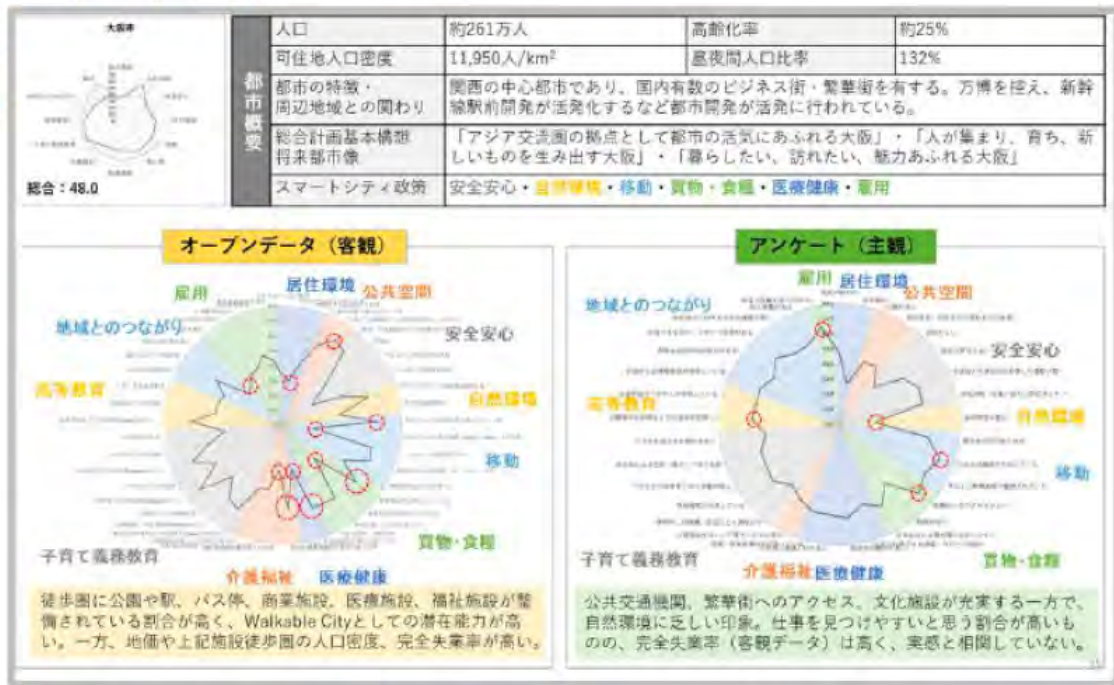
- 取組指標 (プロジェクト実績)**
- ・R&Dプロジェクトの成功
 - ・再エネ発電プロジェクトの成功
 - ・次世代サテライトオフィス成功
 - ・その他現在取組中のプロジェクトの成功

現在準備中のWell-Being指標について



- 主観指標（時系列比較に強い）と客観指標（地域間比較に強い）の2種類の計測をめざします。
- 結果は、以下のようなレーダーチャートのような形で表し、それぞれの地域が、取組全体として改善の有無と課題を検証するのに役立てます。決して、エリア間の順位付けや第三者による比較は、行いません。
- 当該レーダーチャートとそのバックグラウンドとなった指標は、極力公表することを目指します。その評価や改善方法に対するコメントも、広く集めていきます。

- 計測に必要なオープンデータの収集については、RESASをはじめ、リアルタイムデータを中心に、国が積極的にデータを収集し提供します。
- 主観指標については、計測のためのアンケート調査票を設計し、集計・分析方法のガイダンスとともに、本年6月を目途に、無償提供を開始します。
- 客観指標については、必要なデータがダウンロードでき、レーダーチャートを作れるサイトを構築し、無償で提供します。本年6月を目途にサービスを開始し、徐々に利用可能エリアを広げます。



● 効果的な活用事例について、先行分野での例を参考とする。

都市再生の推進に係る有識者ボード 都市再生におけるデータ活用推進WG

働き方の変化やデジタル化の進展、脱炭素社会の早期実現など、めまぐるしく変容する都市を取り巻く環境において、柔軟かつ機動的に都市再生を進めていくため、既存の統計データ等の更なる活用に加え、人流や消費活動等の動的データを積極的に活用し、都市活動の推移や地域ごとの比較などを踏まえた都市再生のPDCAや民間投資の呼び込みを促進するためのデータ利活用のあり方について検討を行うとともに、データ利活用の事例検証を目的としたトライアルを行いました。

WGにおける検討を踏まえ、各地域において、データ利活用しつつ、柔軟かつ機動的な都市再生を進めていくため、現行の「評価マニュアル」を改定するとともに、新たに「モニタリングマニュアル(案)」を策定しました。

既指定地域における評価マニュアル・モニタリングマニュアル(案)

- ▶ 第6回 (令和4年3月2日(水)開催)
- ▶ 第5回 (令和4年1月27日(木)開催)
- ▶ 第4回 (令和3年11月17日(水)開催)
- ▶ 第3回 (令和3年10月12日(火)開催)
- ▶ 第2回 (令和3年9月7日(火)開催)
- ▶ 第1回 (令和3年8月3日(火)開催)

都市再生緊急整備地域
モニタリングマニュアル
(案)

出典：「地方創生サイト」(地方創生推進事務局 - 都市再生・未来技術)